

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック
山形中央ロータリークラブ 2025-2026

CLUB NEWS

Weekly Report Yamagata Central

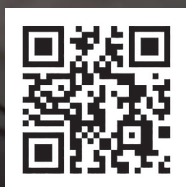
2025
09

No.1403-1405回

毎週火曜日
12:30~13:30
(但し第5週は18:30~)

特集

- ◆ ガバナー補佐訪問例会 ガバナー補佐：枝松 祐子
- ◆ お月見の会
- ◆ デジタルで学ぶ!遊ぶ! つながるプログラミング体験会
- ◆ ガバナー公式訪問例会 ガバナー：小松 栄一
- ◆ 会員情報／ニコニコBOX



山形中央ロータリークラブ
<https://ycrc.sakura.ne.jp>

第1403回 [2025.9.2 12:30 / ホテルメトロポリタン山形]
◆ソング／国歌・四つのテスト ◆会員総数／36名 ◆出席会員数／24名

第1404回 [2025.9.9 18:30 / takosu_y_margarita]
◆会員総数／36名 ◆出席会員数／21名

社会奉仕活動 [2025.9.13 12:30 / 児童養護施設 山形学園]

第1405回 [2025.9.30 12:30 / ホテルメトロポリタン山形]
◆ソング／それでこそロータリー ◆会員総数／36名 ◆出席会員数／27名

よいことの
ために
手をとりあおう



2025.9.2(火)

講演テーマ「私とロータリー」

この度は、山形中央ロータリークラブの卓話にお招きいただき、ありがとうございます。そして、今年度2人目の新会員のご入会、心よりお慶び申し上げます。

私のロータリーとの出会いは、20年以上勤められた事務局員の後任に突然だったことです。飛び上がるほど嬉しかったことを今でも覚えています。その1年後、当時の会長から入会を誘われ、会社の代表でもないただの事務局員を仲間として認めてくださったことに、今でも深く感謝しています。

<ロータリーとのご縁と学び>

ロータリーが楽しくて仕方がなかった私は、頼まれれば厭と言わず何でも引き受けました。中学生の頃からJRCに参加しボランティアの重要性を感じていましたが、一人で活動する寂しさを感じていました。しかし、ロータリーに入会してからは、奉仕について語り、行動を共にする仲間ができたことに、自分の存在価値を見出せるようになりました。自

分の人生が、このロータリーに繋がっていたのだと実感しました。

地区に出てからは、いきなりの委員長として、多くの経験を持つ先輩から厳しいご指導をいただきました。へこむ日々もありましたが、委員の皆さんが「俺たちがサポートするから」と支えてくださり、無事3年間やりきることができました。このご縁に本当に感謝しています。

<ガバナー補佐として、そしてこれからのロータリー>

入会8年目でガバナー補佐という大役を仰せつかり、私自身も驚いています。私がここにいられるのは、多くのご縁があったからこそです。本日お集まりの皆様とも、このご縁がなければ出会うことはありませんでした。ロータリーに誘ってくださったすべての方に、心から感謝申し上げます。これからも一つひとつのご縁を大切に、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

皆様には、ぜひ「マイロータリー」や「2800地区公式LINE」の活用をお勧めします。特に「マイロータリー」のラーニングセンターには、役職ごとの心構えなど、実践的な学びのプログラムが豊富にあります。私自身も大変役立ちました。来月はいよいよ小松ガバナーの公式訪問です。ガバナーの基本方針はありますが、あくまでもクラブには自治権があります。皆様一人ひとりがご自身のストーリーを大切にし、ロータリーを人生に添えて行動することで、きっと「ガバナー賞」という栄誉に輝く一年になるでしょう。皆でガバナー賞を達成しましょう！

【会長挨拶】 データドリブンな意思決定

「データドリブンな意思決定」について、少しお話をさせていただきます。

データドリブン、聞き慣れない言葉かもしれませんが、意味は「データに基づいた意思決定」です。

私たちの企業活動は、営業やマーケティング、採用など、あらゆる場面で意思決定の連続です。これまでは経験や勘、知識に頼ることが多かった意思決定を、データ分析によってより精度高く導き出すのがデータドリブンの考え方です。

データ分析には大きく2つの役割があります。ひとつは「可視化」。グラフや数値で表すことで、経験や勘では見過ごしていた「気づき」を得ることができます。例えば、商品の売れ行きが季節や曜日、時間帯、天候によってどのように変わるか、顧客ニーズがどう変化しているか、といったことが分かります。

もうひとつは「予測」です。販売予測を立てることで仕入れやセールの計画をより正確に立てられ、迅速で再現性のある意思決定が可能になります。

国内で理想的なデータドリブン企業の例として、キーエンスが挙げられます。キーエンスは営業から企画、人事、製造まで、あらゆる場面でデータを活用し、社員一人ひとりが生産性を高めるという理念のもと、営業利益率54.1%という驚異的な実績を上げています。

もちろん、私たちの会社にデータドリブンを導入するには時間がかかります。しかし、長期的な視点を持つことが大切です。特に中小企業のオーナー経営者のように「子や孫の代へ会社を残す」という姿勢を持つ方々にとって、データドリブンは非常に相性の良い考え方と言えるでしょう。





山形大が基金設置

モンゴル留学生受け入れ拡大

山形大（玉手英利学長）は11日、モンゴルからの留学生の受け入れ拡大や交流事業の推進を図る「山形×モンゴル 未来へつなぐプロジェクト」を発足したと発表した。本県と同国を股にかけて活躍する人材を育成し、双方の地域活性化や交流促進につなげる。各種支援に向けた基金を設け、広く善意を募る。

同日の同大定例会見で、村山秀樹副学長（国際交流担当）と発起人の一人である金子昌弘エム・エス・アイ社長が説明した。

プロジェクト期間は2028年8月まで。基金を活用し、山形西高をモデルにした日本式教育機関「新モンゴル学園」（フランパイトル市）から同大に進学する学生に奨学金などとして20万円を支給するほか、同学園や同大の学生らによる交流事業の開催を支援する。寄付の受け入れ目標額は400万円。個人や企業・団体に協力を呼びかける。

エム・エス・アイは山形

市のIT企業。グループ企業を含め社員10人がモンゴル人で、高度人材として活躍している。金子社長は「モンゴルには優秀な若者が多い。絆を深めることで、日本のためにも頑張ってもらえる」と話した。

玉手学長や古村美奈子知事は今月上旬、モンゴルを訪問し、同学園を視察。現地で県や同大、同学園は若手人材の育成に関する協力覚書を交わした。（小田信博）

【会長挨拶】 今宵の月

今、月は出て居ませんが、美しい月を想像しながら皆様と親睦を深める事ができる事、嬉しく思います。

さて、この素晴らしい会を催すにあたり多大なるご尽力を頂いたクラブ管理委員長の長橋さん、親睦委員長の小泉さん親睦委員の皆様、そして幹事の鈴木陽子さん心より感謝申し上げます。

皆様のおかげで、今宵、最高のひと時を過ごすことが出来ます。

本当に有り難うございます。

今宵は日頃の活動から離れて、お互いを深く良く知り交流を深める時間にしましょう。



デジタルで学ぶ！遊ぶ！ つながるプログラミング体験会



洗濯機など寄付
山形市が感謝状
山形中央RCに
山形中央ロータリークラブ（RC、本間雅之会長）は、山形市の児童養護施設山形学園に全自動洗濯機1台と乾燥機を置くスタンド（計10万円相当）を寄付し、2日に佐藤孝弘市長から感謝状が贈られた。



山形中央ロータリークラブ（RC、本間雅之会長）は、山形市の児童養護施設山形学園に全自動洗濯機1台と乾燥機を置くスタンド（計10万円相当）を寄付し、2日に佐藤孝弘市長から感謝状が贈られた。

市役所で贈呈式が行われ、同RCの本間会長、鈴木陽子幹事、社会奉仕委員会のメンバーらが出席した。佐藤市長から感謝状を受け取った本間会長は「ささやかだが、生活環境の向上に役立ててほしい。子どもたちの健全な成長を願っている」とあいさつした。

山形学園への寄付は2年連続。洗濯機は今日1日から施設で活用されている。（上妻大晃）



児童養護施設
山形学園

REPORT
NEWS

2025/9/5(金) 山形新聞
本間会長、鈴木幹事、
社会奉仕委員会

【会長挨拶】 プログラミング体験

皆さんに会いたい、一緒にプログラミングを勉強したいとの思いで集まった中央ロータリーメンバー12名とプログラミングを教えて下さる、(株)サムコミュニケーションの先生の皆さんです。

今年は先程話したプログラミングの勉強をしたいと思います。

皆さんパソコン、スマホを持っていますか？その中のアプリを動かすのが、プログラミングです。

プログラミングを勉強する事が、将来の選択の幅を広げたり、可能性の扉を開くものです。今日一日楽しみながら、一緒に勉強して行きましょう。





今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います：

「UNITE FOR GOOD:

よいことのために手を取りあおう」

シンプルながら、力強いフレーズです。

ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。

私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないようにしましょう。

かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけにはいきません。世界の子もたちとの約束を守らなければなりません。

ロータリーは1世紀以上にわたって平和を構築してきました。安全な水のシステム、青少年交換、母子の健康プロジェクトなど、あらゆる活動が平和へのステップとなります。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できないと思っていた夢を取り出すときが来ました。その夢に光を当

てましょう。

クラブ、地域社会、そして世界のために、よいことのために手を取りあおうではありませんか。リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた1年といたしましょう。

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-26年度ガバナーメッセージ

良い事をしよう 地域で、世界で、未来のために

2019年12月に新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生してから6年目になりました。一方で新たな感染症の発生や、再興感染症と言われる古くて新しい感染症の発生も危惧されており、21世紀は新たな感染症との戦いの世紀と言っても過言ではありません

また、2022年2月24日にロシアがウクライナに電撃的侵攻を開始しました。2023年10月7日にハマスの電撃ロケット攻撃に始まったパレスチナ・イスラエル戦争は泥沼の状態が続いています。世界中で分断の時代に突入したと言われていますが、分断はあらゆる面に広がり、温暖化、人口問題（人口増、人口減いずれも）、食料、経済問題、感染症、ジェンダー、ハラスメント、世代間格差、アンコンシャスバイアス等々数えきれない分断の場面が浮かび上がります。これらの問題は、いずれも解決しなければ人類の存亡に直接影響を及ぼす問題であったり、人類の未来を左右する問題ばかりです。



そんな中であって、私たちロータリアンは何を求められ、何を為すべきなのでしょう。

最近、ロータリーは優れたボランティア団体です。述べるRIの重鎮が増えています。若い世代にはその方が評価されるということのようですが、それだけでいいのでしょうか。

私は、ロータリーの基本は「ロータリーの目的:object of Rotary」にあると教えられてきました。皆さんもロータリーの目的を十分理解されていると思いますが、今一度見直してみましょう。

ロータリーの目的の本文、「奉仕の理念を奨励し育む」とは何を意味しているのでしょうか。

奉仕の理念とは何でしょうか？

奉仕の理念とは、フランクリン・コリンズの言った「超我の奉仕:service above self」であり、アーサー・フレデリック・シェルドンによる「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる:One profits most who serves best」に現されています。この二つのモットーを理解し、自分の行動に如何に取り入れるかを考えることが、私たちに求められていると考えます。

ロータリーの目的では、その為に具体的に行うべきことを五大奉仕として例示しています。

世界中で格差拡大と多くの分断が発生していると述べましたが、その格差や分断を埋める方法はあるのでしょうか。私は、「**チャレンジできる公平な環境を作る**」ことが問題の解決につながるのではないかと考えます。そのためには、私たちが地域や世界中で格差の改善、分断解消のための活動を行うこと。特に若者に対する支援を積極的に行うことが必要なのではないかと考えます。

このような考えに基づいて、私の年度は、『**良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために。**』というガバナーメッセージを発することに致しました。

クラブ活動で学んだことを応用し、地域での活動を活発化させて、地域の抱える問題を発掘しそしてその解決に挑んでいただきました。

い。また、皆さんの目を海外に向けて、世界中で困っている人がいる現状を具に見、手を差し伸べてほしい。それには、ロータリー財団や米山奨学会の存在が私たちの活動の手助けになるでしょう。また、若い人々の意見も取り入れ、新発想で地域の諸問題解決に挑んでいただきたいと思います。

そして、未来のために私たちができることを惜しみなく行いましょう。今が良ければそれでいいといった身勝手は人類の破滅、地球の破滅をもたらします。そうならないために何をすべきか考えてください。それは、職業奉仕でも、社会奉仕でも、国際奉仕でも、青少年奉仕でもなんでもいいのです。クラブ活動を通じて奉仕の精神を学び、そして実際に社会で活動しましょう。実践なきところに成果はない。ロータリアンは実践の徒なのです。その結果として、ロータリーの活動がさらに活発になり、それを見ている職業人や若者が私たちの考えに賛同してくれ、そして仲間が増える。さらに、ロータリーの活動が活発になる。そんな好循環を私たちは目指したいと思います。

ロータリーディ記念事業:それぞれの最上川物語 第3章

ふるさとの母なる川、最上川。いにしえより恵みを運ぶ大動脈。未来に豊かで美しい最上川を引き継いでいくために、最上川をステージにして、地区内全てのグループが一丸となって、環境をテーマにした何らかの事業を行っていきましょう。ロータリーデーの事業として地域社会に広報し、ロータリアンだけでなく、青少年を含む多くの地域の方々とともに汗をかい、最上川をとおして環境問題、そしてふるさとを考えてみましょう。

樹氷再生プログラム

山形県のもう一つのシンボル蔵王の樹氷、その元となるアオモリトドマツの枯死が近年問題視されています。その原因は害虫による食害で、2万本ほどが枯れてしまいました。この再生に山形市や市が取り組んでいます。

この樹氷再生には、地球温暖化との戦いも関係してきます。アオモリトドマツを植樹し

ても、温暖化が進めば、結局樹氷は消滅してしまうのです。

これらのことを総合して考え、自然環境の保護や再生、ゴミ問題など様々な問題に各地域ごとに取り組んで頂くようにしたいと考えます。

伊藤三之バスターガバナーが提唱して始まった「それぞれの最上川物語」。最上川を通じて環境問題、そしてふるさとについて考える機会としましょうという訴えは私たちの胸を打ちました。

さらに、芳賀直前ガバナーが提唱した『樹氷再生プログラム』への協力。母なる川、最上川と山形のシンボルである蔵王樹氷、山形全体をステージにして、地区内全てのクラブが環境や自然保護、温暖化対策やゴミ問題、あらゆるテーマに関連した何らかの事業を行っていきましょう。

ロータリーデーの事業として地域社会に情報を発信し、ロータリアンと一緒に、青少

年を含む多くの地域の方々に参加いただく機会とし、ともに汗をかいて、地域について語りあいましょう。

地区重点事項として以下の10項目をあげました。

1. 行動計画の理解
2. 3 year rolling goalsの実践
3. クラブ活性化
4. 公共イメージ向上・会員増強
5. ロータリーを学ぼう
6. 職業奉仕を学ぼう
7. ロータリーデー記念事業：
「それぞれの最上川物語 part 3」
8. ロータリー財団への貢献
9. 米山奨学会への貢献
10. 青少年奉仕を充実させよう

これらの項目について、ガバナー月信7月号をご覧頂いた上で、クラブでご検討頂き、それぞれの取り組みを考えて頂きたいと思います。

2025.9.30(火)



【会長挨拶】 小松ガバナー公式訪問

小松ガバナーが掲げられた「良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために」という地区テーマ。この言葉を拝見したとき、私たちの胸に熱いものがこみ上げてきました。私たちは皆、誰かのために何かをしたいという、見返りを求めない思いで集いました。この想いが、年齢や職業の壁を越え、今日まで私たちの活動を支えてきました。

ガバナー、本日は、その尊い奉仕の道がいかに素晴らしいか、そして、私たちが目指すべき未来の光を、直接お示しいただけることを、心から楽しみにしております。

ガバナーのお言葉一つひとつが、私たちの心に深く刻まれ、明日からの奉仕活動への大きな力となることを確信しています。



企業創立記念日&お誕生日&その他イベント



お誕生日

金子昌弘さん、丹野秀樹さん、柴田修英さん
高橋恭治さん、明石昌樹さん

おめでとうございます!

第37回 2025/9/14 (日) 日本一の芋煮会フェスティバル



企業創立記念日

(株)セロン東北 (株)ミイエ
田村浩一さん 米野崇仁さん

バンケットコーディネーター
伊藤和子さん



今月のお食事



第1403回 (2025.9.2)



第1406回 (2025.9.30)

「今月の人」

Q

- 1 座右の銘
- 2 好きな食べ物
- 3 嫌いな食べ物
- 4 最近嬉しかったこと
- 5 RCに入会して「よかった」と思うことは?
- 6 あなたにとっての例会とは?
- 7 当クラブの良いところ
- 8 RCを漢字一文字で表すと?

A 玉ノ井憲史

- 1 率先垂範
- 2 お肉
- 3 特になし
- 4 会員が2人入会したこと
- 5 いろいろな業界の方々との交流が出来る、自分の視野が広くなりました
- 6 会員相互が知識や経験を交換し経験を語り合い様々な人柄に触れあう機会を与えてくれる場所
- 7 会員全員がそれぞれ和気あいあいとしており、だれにでも気楽にお話ができる楽しいクラブです
- 8 「学」

Q

A



2025.9.2

丹野秀樹・江目祐一・伊藤和子・青柳紀子・相川博昭 / 松枝ガバナー補佐、ご来訪ありがとうございます。米野さんご入会おめでとうございます。一緒にロータリーを楽しみましょう。
枝松祐子 / 山形中央RCさん2度目の訪問です。暑い日が続きますね。宜しくお願いします。
本間雅之・鈴木陽子・佐藤登美子・明石昌樹 / ガバナー補佐、例会におこしいいただき、ありがとうございます。米野さん中央RCによろこそ!! 良い時間を過ごしましょう。
米野崇仁 / 本日より、山形中央ロータリークラ

ブに入会することとなり、大変うれしく思います。これからよろしくお願いいたします。

長橋正人 / 松枝ガバナー補佐、今日は有難うございました。米野さん、御入会おめでとうございます。

玉ノ井憲史・石山徳昭・小泉俊哉・小林敏郎・川合勝芳・田村浩一・小松茂洋・高橋正人 / 枝松ガバナー補佐、ようこそお越しいいただき、ありがとうございました。加えて新入会員の米野さん大歓迎です。一緒にロータリーを楽しみましょう!

2025.9.30

安藤英男・佐藤登美子・柴田修英・田村浩一・二瓶正道・小松茂洋 / 小松ガバナー公式訪問に感謝します。

丹野秀樹・相川博昭・小林敏郎・玉ノ井憲史・長橋正人・深瀬隆志 / 小松ガバナー、枝松ガバナー補佐、國井地区幹事のご来訪を歓迎致します。今年

1年間、ご指導の程宜しくお願いします。

齋藤真・阿部美春・石山徳昭・米野崇仁 / 小松ガバナーの卓話に感謝いたします。最終例会にロータリーが楽しかったと話せる様に活動しましょう。

後藤完司・川合勝芳・小泉俊哉・伊藤和子・佐竹純一・長谷川幸司 / 小松ガバナー、枝松ガバナー補佐をはじめ役員の方々、ようこそ山形中央ロータリークラブ例会にいらっしやいました。大変忙しい日が続くと思いますが、お身体に気をつけて下さい。更なるご活躍祈念いたします。

本間雅之・鈴木陽子・佐藤太 / 小松ガバナー 本日はありがとうございました。「良いこと」のために手を取りあって参ります

國井春彦(寒河江RC) / 例会に参加させて頂きありがとうございます。

枝松祐子(上山RC) / ガバナー公式訪問例会ありがとうございます。

編集後記

今年も「お月見の会」は多くの方に参加いただき大いに盛り上がりしました。お月見は平安時代から続く日本の伝統行事で、この頃、貴族たちは庭に集まり、美しい月を眺めながら詩を詠み、季節の移り変わりを楽しんでいました。お月見の由来には様々な説がありますが、その一つには、中国から伝わった「中秋節」があります。これは、収穫を祝う行事であり、満月を愛でることで自

然の恵みに感謝を捧げる意味が込められているそうです。今年は令和の米騒動や夏の異常気象など農作物について考えさせられる機会も多かったですが、改めて農家の皆さんと自然の恵みに感謝する機会にしたいですね。